

基本施策評価表

所属 22500000

保健福祉部 健康増進課

政策	41 医療体制の充実							
区分	妥当性		妥当	コスト削減の余地		無	受益者負担	適正
	上位貢献度		有効	類似事業の有無		無	成果向上の余地	有
対象	市民							
施策が目指す姿	身近な医療から救急医療まで様々な段階の医療を受けられる環境が整っている。 国民健康保険制度や後期高齢者医療制度の健全な運営が図られている。							
成果指標	①地域医療についての市民満足度…5年間で62%（現状値60.3%） ②救急車が病院に受入照会をした時に、1回目の照会で受入した割合(産科・周産期、小児を除く重症以上傷病者)…5年間で100%(現状値78.8%)							
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [%]	予定					62.00	
		実績						
	成果指標2 [%]	予定	78.80	80.00	80.00	90.00	100.00	
		実績	78.00					
	成果指標3 []	予定						
		実績						
	成果指標4 []	予定						
実績								
トータルコスト(千円)		予定	23,916,860	23,912,666	23,359,013	0	0	
		実績	24,437,636	23,858,074	23,359,013	0	0	
内部評価	貢献度	基本施策の目指すべき姿である「健康で生きがいを持てるまちづくり」を進めるうえで、本基本施策「医療体制の充実」の貢献度は高い。						
	達成状況	1回目の照会で受け入れした割合は、78%で目標と比較して若干低い、ほぼ目標を達成できた。						
	課題	市民満足度を上げるため、さらに関係機関と連携を図る必要がある。また、救急車の受け入れ改善を図る必要がある。						
	取組方針	医療体制の充実のため、引き続き医師確保に向け病院等へ働きかけを行う。また、高齢化社会に向け、社会保険の健全運営についての取り組みを強化する。						
外部評価	基本施策「医療体制の充実」にある指標が「救急車が病院に受入紹介をした時に、1回目の紹介で受入れした割合」となっているが、それぞれの単位施策の成果がここにある指標に結びつかないように思われる。また、平成30年度の目標値が78.8%となっているが、根拠がよくわからない。ここは、段階的ではなく目指すべき数値は100%ではないか。それと、この基本施策においても、取組方針では医師確保に向け、働きかけを行うとしているが、単位施策での5年後の目標を達成している成果があることと矛盾しているように感じられる。そのような点もあり、内部評価が少し安易な書き方であると思われる。							
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称					トータルコスト(千円)	達成度
	4101	地域医療の充実					508,207	100
	4102	救急医療体制の充実					132,044	100
	4103	社会保険安定運営					23,797,385	90

基本施策評価表 補表

施策	41 医療体制の充実		
区分	妥当性	妥当	市民が安心して住み慣れた地域で健やかに暮らし続けることのできる環境整備のため必要な事業である。
	コスト削減の余地	無	医療体制や社会保険の安定運営のためコスト削減は困難である。
	受益者負担	適正	社会保険制度を運営するにあたり、適正な負担をしていただいている。
	上位貢献度	有効	基本方針「健康で生きがいを持てるまちづくり」に対する貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	救急体制の充実を図ることで1回目の照会で救急車を受け入れた割合が高くなり、市民満足度が向上するものと考ええる。
内部評価	貢献度	基本方針である「健康で生きがいを持てるまちづくり」への貢献度高い。	
	達成状況	救急車が病院に受入照会をした時に1回目の照会で受入した割合については、100%受け入れてもらえるよう働きかけを行っているが、救急患者の重複や病院の医師不足など難しい面もある。	
	課題	救急医療体制の充実を図る必要がある。併せて、社会保険の安定運営のため保険税の収納率向上や医療費の抑制を図る必要がある。	
	取組方針	救急医療体制充実のため、医師の確保について病院等への働きかけを行う。 また、社会保険安定運営の為、滞納処分の強化や口座振替の推進等の収納率向上対策を積極的に実施し収納率の向上を図るとともに、生活習慣病の重症化予防等の効果的な保健事業を実施し医療費の抑制を図る。	